義務年限9年間を振り返って

自治医科大学 2013年卒 兵庫県36期 山本哲也

卒業まで

1988年 兵庫県西宮市 生まれ 2001-2007年六甲中学、高校 ***** 国境なき医師団の言葉 生まれたからには困っている人のため に働きたい

2007-2013年自治医科大学/ラグビー部





9年間の義務年限

初期研修: 公立豊岡病院

前期派遣1-2年目: 県立柏原病院(現:丹波医療センター)内科

前期派遣3年目: 公立豊岡病院 総合診療科 科長

後期研修: 姫路循環器病センター 循環器内科

後期派遣1-2年目: 公立豊岡病院 循環器内科

初期研修~公立豊岡病院~

これから9年間義務年限 特に志望の科も決めてない 今後地域で内科をおこなっていくために総合的に勉強しよう 各種内科系、外科系満遍なくローテション



初期研修~公立豊岡病院~

よく遊び、よく学んだ2年間。

ドクターヘリ乗せてもらいました







初期研修~循環器内科との出会い~

初期研修1年目5,6月循環器内科 循環器医師5人。正直あまり興味を持たなかった

初期研修2年目5,6月循環器内科 ~40代の医師2人で365日オンコール~

めちゃくちゃかっこいい いろいろな地域医療の形があるけど、 この人たちは間違いなく地域を支えている。

初期派遣 医師3,4年目

~兵庫県立柏原病院(現:丹波医療センター)~

内科ひとまとまり 各科の区別なしまさに病院総合医 感染症/消化器系/循環器系etc。。



日々の日常診療

・全患者チェックされてる ・この症例ここが普通と違うよね

カンファレンス 学会発表

人生初のケース論文作成:



アカデミック

皮膚科疾患+婦人科領域の感染症によるショック患者

初期派遣 医師3,4年目 ~兵庫県立柏原病院(現:丹波医療センター)~

- 地域中核病院の内科は全身をみれなければならない。
- ・他科の患者さんを見る時にはより一層丁寧に。
- アカデミックも医者をやっていく上では非常に重要。初めは大変・めんどくさいけど、評価されると嬉しい。。。





初期派遣 医師3,4年目 ~兵庫県立柏原病院(現:丹波医療センター)~ 上には見坂先生、内科系専門の上級医の先生数人、同期多数



初期派遣 医師5年目 ~公立豊岡病院 総合内科~ 自分(5年目)が一番上。あとは4年目2人、3年目2人・・・・

初期派遣 医師5年目

~公立豊岡病院 総合内科 地域中核病院の科長の重責~

何事も頑張ろうとする後輩

5年目1人

4年目2人

3年目2人

ほんとはできるのに 自信のない後輩

この9年間で最も大変だった時期 そしていろいろ考えさせられた時期

いろんな人がいる、いろんな指導の方法がある

他科の部長と話し合いをするための納得させる理論的話し方

但馬地域において総合診療科が最後の砦。



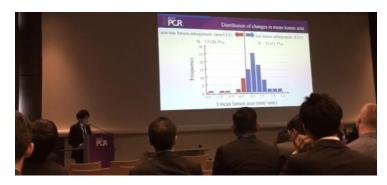
初期派遣 医師5年目 ~公立豊岡病院 総合内科 地域中核病院の科長の重責~

- 医師は診療だけではなく、価値観の異なる他者をどうやってうまく使っていくか、また目上の人とも対等に話さなければいけない場面がある。
- ・地域の中核病院の総合内科は非常に責任のある科、地域の 患者・家族が安心して医療を受けれないといけない。
- ・それまでのいろいろな人とのつながり(特に総合内科の見坂 先生、血液腫瘍内科の北尾先生、感染症内科の南先生)に助 けられ、とても人とのつながりの大切さを実感した。

後期研修 医師6,7年目 ~姫路循環器病センター~

2年間循環器診療に没頭 自分には2年しかないため誰よりも働くという気持ちで 初期研修医の時に感じた、地域での循環器診療を支えるためにできるようになっていなければいけないことを網羅。 たくさんの人数でワイワイ楽しく切磋琢磨

学会発表は2ヶ月に1回程度 海外学会への発表(旅行) 臨床研究論文作成



後期派遣 医師8,9年目 ~公立豊岡病院 循環器内科~

- ・研修医の頃に自分が考えていた地域医療の集大成。 (崩壊しかけの地域の循環器医療を支える。)
- ・地域だから受けれない医療がないようにしてあげたかった。
- ・当時の二人の循環器医師にはなるべく楽をさせてあげたいという 気持ちで2年間働く。
- ・なるべく県派遣の循環器志望の後輩にいろいろやらしてあげたい。
- ・医学的には後期研修の時にカテーテル治療に非常に興味を持ったので、治療内容としても研究としても豊岡から外部に発信する。

後期派遣 医師8.9年目

~公立豊岡病院 循環器内科~

- ・冠動脈石灰化治療デバイスの導入
- ~年間30人程度の阪神間への紹介が減った。~
- •不整脈に対するアブレーション、TAVIやMirtaClipなどの紹介
- ~2019年度11人→2021年度32人~
- •1年間の入院数464人
- ・急性心筋梗塞に対する緊急件数個人全国2位

義務年限中、豊岡からのアウトプット

- •Original article 2本(豊岡1本)
- •Case report 6本 (豊岡3本)





journal homepage: www.elsevier.com/locate/ijcard

Impact of post physiological assessment after treatment for de novo coronary lesions using drug-coated balloons



Tetsuya Yamamoto , Toshimitsu Ishii, Akihiko Ishida Department of Cardiology, Toyooka Public Hospital, 1094, Tobera, Toyooka, Hyogo 668-8501, Japan



振り返って

- 総合的な視点で患者を見ることができるようになり、医学も解釈できるようになった。
- 人とのつながりにより助けられ、成長させてもらった。
- ・地域の公立病院で勤務する経験はなかったが、自分なりに地域のことを考え、充実した9年間だった。